



## ユネスコスクールとしての活動シリーズ第2弾 「国際ボランティア」

### 朝日新聞掲載(3月25日)記念 及び 外部団体との協働授業の報告

ユネスコスクールのテーマでもある ESD 持続可能な社会（発展しなくても良いとの意見も by 杉総生、...）の実現に向けて頑張っている学生団体と、本校のインドネシアの孤児院での活動を授業の中で紹介しました。

この「国際ボランティア」は学校設定科目として難民・ホームレス・LGBT・環境問題・GMO や廃棄物問題など積極的に紹介・「調べ学習」を実施し、後半は高校生が実施可能な「活動計画：企画書」の作成などを行っています。その一環として、本校卒業生が参加している学生団体（夢人）メンバーをゲストに、大学生が企画・運営している「ラオスでの教育支援」と彼ら学生団体についての紹介をしてもらいました。「企画」の立て方、資金計画と組織運営・広報活動・現地での活動などについて、身近な存在である大学生が苦労しながらも「楽しく」活動している事から、数年後の自分でも参加可能な国際貢献を考える良い機会になったと思います。

また、朝日新聞に掲載されたセマラン（中部ジャワ州）での本校の活動の詳しい内容を、参加者である生徒本人がパワーポイントを使いながら紹介。現地の高校生たちとの交流や孤児院での生活や苦勞話し・高校生だからできる国際貢献について参加者全体で考えてみました。なおこの孤児院でのボランティア活動はこの夏も8月中旬以降に計画中です。3年目の今年はプロフェッショナル部門（NGOでの研修と運営）でトビタテ留学 Japan(文科省)に応募、2次選考に残っている生徒が2名います。彼らが合格してくれることを心から祈るのみです。



夢人は首都圏の学生が中心となって 2011 年 10 月に発足した教育支援団体です。「夢を夢で終わらせない」を理念に掲げ、ラオス政府と共同で学校建設など、ラオスの子供の教育環境を整える活動をしています！ <http://yumenchu.planet.bindcloud.jp/>より